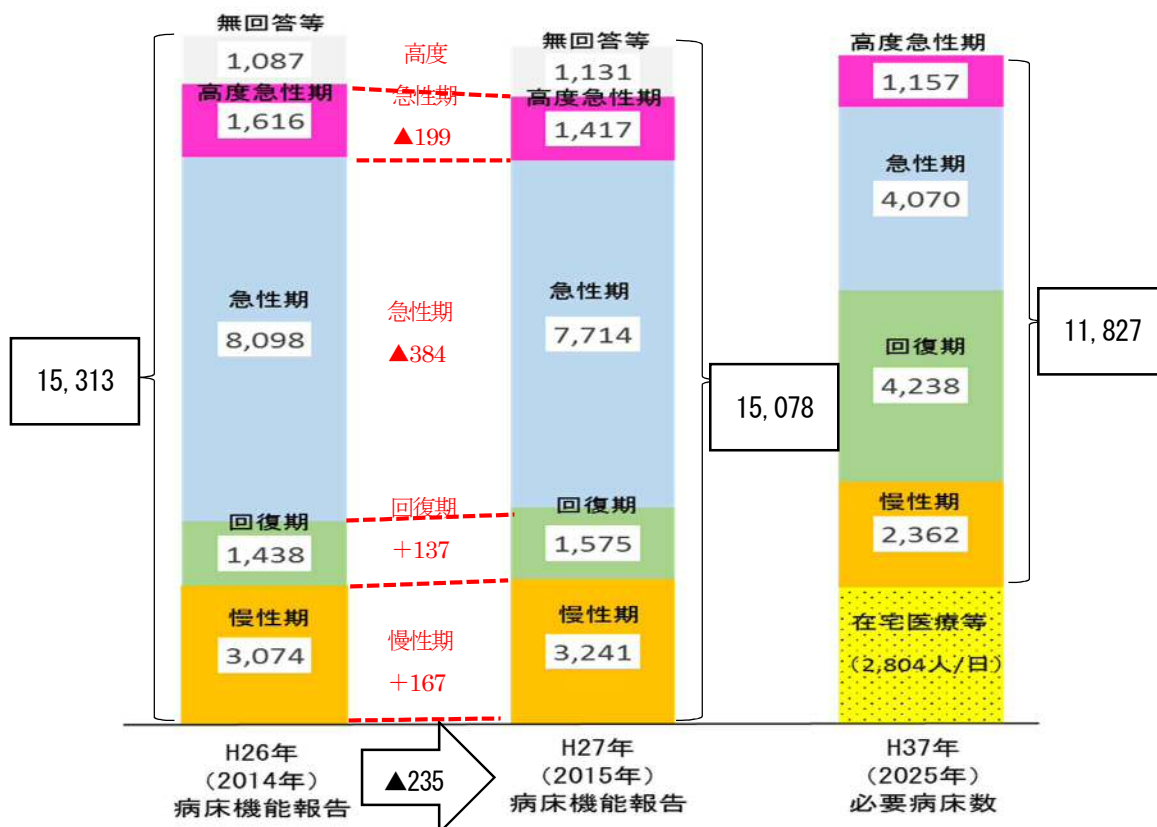


平成27年度 病床機能報告の結果（病床の機能分化・連携の状況）

1. 県全体

- ・ H26→H27：高度急性期▲199、急性期▲384、回復期+137、慢性期+167
- ・ 慢性期のうち在宅医療で対応可能とした2,804人/日分の在宅医療の整備が必要。
- ・ 慢性期から在宅医療等へ推計どおり移行が進めば、県全体で約3,200床の病床が不要となる見込み。

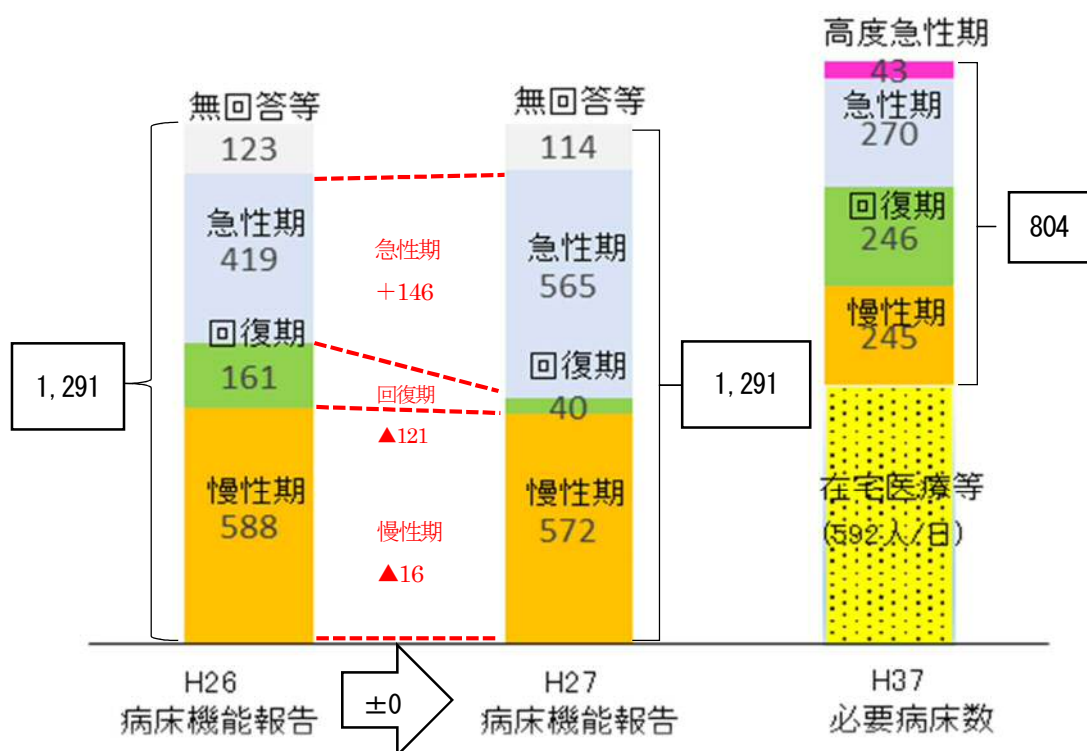


	H26 病床機能報告	H27 病床機能報告 ①	H37 必要病床数 ②	②－①
高度急性期	1,616	1,417	1,157	△ 260
急性期	8,098	7,714	4,070	△ 3,644
回復期	1,438	1,575	4,238	2,663
慢性期	3,074	3,241	2,362	△ 879
在宅医療等				
無回答等	1,087	1,131		△ 1,131
	15,313	15,078	11,827	△ 3,251

2. 構想区域別

- ・ H26→H27：急性期+146、回復期▲121、慢性期▲16
- ・ 慢性期のうち在宅医療で対応可能とした 592 人/日分の在宅医療の整備が必要。
- ・ 慢性期から在宅医療等へ推計どおり移行が進めば、西北五地域で約 480 床の病床が不要となる見込み。

西北五地域



	H26 病床機能報告	H27 病床機能報告 ①	H37 必要病床数 ②	②－①
高度急性期	0	0	43	43
急性期	419	565	270	△ 295
回復期	161	40	246	206
慢性期	588	572	245	△ 327
在宅医療等				
無回答等	123	114		△ 114
	1,291	1,291	804	△ 487